

行雲流水

No.253 令和4年10月3日発行

マナビアン・グローカリアンの育成

校長 寒河江 正人

生徒諸君も知ってのとおり、私たち本校の教職員が目指しているのは、次のとおり。

**「Think global, Act local, Be a glocalian.」の理念の下、
将来、君たちが「世の中に出て、活躍すべきときにぐんぐん伸びしろ」がある、
地元の地域や広く世界で、主体的に自分の意志をもって、学び、貢献しようとする人材、
「マナビアン」、「グローカリアン」の育成である。**

さて、今年度の前半を振り返ってみよう。

生徒会長の矢口栞楠さんを中心に、積極的・意欲的な生徒会活動が展開されていることに感謝したい。

生徒会だよりの「Color」やボランティアプロジェクトが発行する「ボランティアだより」をいつも楽しみに読ませていただいている。

先頃、公募され、編成された「神中ボランティア隊」は、参加希望者がすでに40数名を超えているというのではないか。

自分の自由意志で、主体的に地域貢献の活動に参加しようという生徒がこんなにいるのは、素晴らしいことだ。

本校の校訓。その第1番目に掲げられているのは、「自由」だ。

「自分の自由意志」で、「何か、誰かの役にたい」という行動に向かうエネルギーは、まさに、神町中の生徒の姿にふさわしい。

記念すべき第1回は、秋晴れのなか、「村山野川の河川敷のゴミ拾い」を実施。

芋煮会やバーベキューで賑わう「**おらだの河原**」を「**おらだの手**」できれいにする。

なんと素晴らしい**地域貢献の活動**ではないか。

「**コスモスの種植えボランティア**」で育った美しいコスモスの花が、秋晴れに映える。

「きみたちの営み」は、すでに「そこそこ」で「その芽」を出し始めているではないか。

1 学期に紹介した「ヤマザワでの買い物怖いのおばあちゃんを助けた本校女子生徒の話」、
「炎天下でタクシーを待つおばあちゃんに飲み物を買ってあげた本校男子生徒の話」、
「あなたの心に宅配便「お弁当にイベントゥ」の地域貢献活動が広げた地元高齢男性から
のお礼のお手紙」をいただいたこと、などなど。本校生徒の「主体的な育ち」の姿である。

そして、佐直里瑚さんの英語弁論に向かってきた「**学びのプロセス**」。
幼いときに芽生えた「**将来への夢や憧れ**」を自ら少しずつ少しずつ、学び育ててきた。
その「**学びのプロセス**」を私たちは「**ベスト・マナビアン**」の選考会で知っていたはず。
勝ち負けや順位ではなく、その「**学びのプロセス**」にこそ価値があると本人には伝えた。
私たちが向かっている方向に間違いはない。自信をもって日々の指導・助言に当たろう。